



録画を配信

自然災害への備えは十分か

町長 地域で支え合う体制の構築が何よりも重要

災害備蓄品

問

備蓄品や備蓄計画はどのようなものか。

町長

自主防災組織を通じて、各コミセンにアルファ米などの食料、飲料水、毛布を備蓄している。簡易トイレ、簡易壁、暖房器具等の物資を役場敷地内の町防災倉庫に備蓄しているほか、不足に備え民間業者や自治体等と災害応援協定を締結している。

問

各コミセンに備蓄保管庫を設けては。

各コミセンに備蓄保管庫を設けては。

総務課長

交付金などを活用し設置していただきたい。

臨時のヘリポート

問

臨時ヘリポートの状況は。

総務課長

健康福祉課前の広場、スポーツ公園駐車場、スキー場の広場の3カ所がある。冬期間も除雪し確保している。

避難所運営は

問

昨年10月の避難準備情報発令時に、避難所は適切に運営されたか。

町長

防災計画に示された役割分担



横山和浩議員

は明確ではない部分があり、運営上の課題があるため、今後は避難所運営マニュアル策定ほか体制整備の強化をはかりたい。

問

マンパワー不足への対応は。

町長

人口減少や少子高齢化に対応すべく、より効率的な活動を行えるよう見直しを検討する。その一方で、地域で支え合う体制の構築が何よりも重要と考えており、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

避難所の施設は

問

避難所の維持修繕方針は。

町長

地区コミセンの大規模改修は、経年劣化度合いや整備年度などから総合的に判断し、計画的に実施している。令和2年度は東根地区コミセンの大規模改修工事を予定している。

問

Wi-Fiを避難所に。

町長

観光拠点等に整備を続けているが、小学校やコミセンは公共性が高い施設であり、セキュリティ確保も重要な課題であることから、関係者と協議しながら慎重に検討したい。

防災情報の伝達は

問

防災ラジオの導入予定は。

町長

屋外拡声機は聞き取りにくいとのこと意見をこれまでも頂戴しており、テレ



フォンサービスなど代替手段と共に情報提供している。携帯電話などをお持ちでない方には、防災ラジオや個別受信機の導入も選択肢の一つとして捉え、国等へ支援をお願いしているが、全国から要望があり白鷹町がいつ該当するか分からない状況。

大震災以降はテレビ放映の災害情報も充実しており、より実用的で実効性のある手法を研究しつつ、情報通信体制の強化をはかりたい。